



(6) 国産化に向けて人材・産業育成を強化 ＝アニメゲーム関連市場の最新動向(2)

野村総研(上海)咨询有限公司

◇「アニメクリエイター」トレーニング市場

中国には、アニメ制作機構(企業)が1000社程度あり、アニメ制作に携わる人員が約1万人強といわれている。中国アニメゲーム市場の1000億元(約1兆5000億円)のためには、およそ20万分間の作品の供給が必要とされており、政府は国内のアニメ制作人員の育成を強化している。

このほど、労働省は職種標準を改定して、新たに「アニメクリエイター」職種を認め、新職種を育成するために、アニメクリエイターのトレーニングに対して、補助金を出すように指導している。上海市の場合に、2005年10月に、最初のトレーニングコースが登場してから、既に約200以上のトレーニングコースがそろえられている。トレーニング料金が平均8千 - 1万元/人と比較的高額であるにもかかわらず、どれも満員状態である。巨大な「アニメクリエイター」トレーニング市場が既に離陸していると言える。

◇中央・地方政府で競争

04年から、国家広播電影電視総局(広電局)は、アニメゲームの産業基地を認定することにより、重点地域に集積を図ることで、アニメ産業を発展させようとしてきた。認定「基地」には、実際の産業パーク的な集積区である場合もあれば、アニメ番組の制作/出版/流通大手企業を認定している場合もある。これまでに「基地認定」が2回行われ、合計で15社(区)に達している。

国家広播電影電視総局認定アニメ産業基地リスト

2004年12月認定9社(区)	2005年6月認定6社(区)
上海アニメスタジオ	深せんアニメ制作センター
中央テレビ局中視総公司	大連ハイテク区アニメ産業園
三辰アニメ集団	無錫太湖デジタルアニメ創業園
湖南金鷹アニメ有限公司	
杭州ハイテク開発区アニメ産業園	長春映画スタジオ
常州映画テレビアニメ有限公司	江通アニメ有限公司
上海(火ヘンに玄)動アニメチャンネル	蘇州工業園区アニメ漫画産業区
南方アニメ番組連合政策センター	
中国電影集団	

中央政府の中では、テレビ放送をベースに力を広げる広電局に対して、コンテンツ側を中心に、文化省、新聞出版総署もそれぞれ産業基地を認定している(上記に加えて、7社(区)が既に認定されている)。また、地方政府も各自で基地認定(指定)を実施し始めたことにより、沿海都市と四川省を中心に、「アニメゲーム産業基地ブーム」が起こっている。

各地方政府は、より優良な企業の誘致・育成のために、アニメゲーム産業基地に特別な優遇策を出している。「上海張江文化創意基地」では、浦東政府は1億2000万元の補助基金を準備して優秀な基地内企業へ補助金を提供している。張江基地の場合、中国美術学院、上海アニメスタジオ、上海東方衛星テレビアニメチャンネルとも連携している。

◇日系企業ができること

上述のように、産業基地内の新設小規模スタジオが続出しており、中国では優秀なクリエイター人材不足が深刻な問題となる。日系アニメ関連企業は、現地パートナーと提携して、まず潜在能力のある学生を発掘して、トレーニングするプロセスから参入することで、中国において競争優位を持つ機会はまだまだありそうだ。しかし、単なる補助金などの優遇策を狙って、自称「日系」教育機関もたくさん乱立しているので、まずは、しっかりとしたブランドづくりが急がれる。(主任コンサルタント 唐栄 / 総経理 中島久雄)